



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社 ランシステム

コード番号 3326 URL <http://www.runsystem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 日高 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 面高 英雄

TEL 03-6907-8111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	4,107	—	107	—	109	—	26	—
27年6月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 24百万円 (—%) 27年6月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	12.83	—
27年6月期第2四半期	—	—

(注) 当社は平成28年6月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年6月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第2四半期	4,790	2,012	42.0	986.40
27年6月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 2,012百万円 27年6月期 1百万円

(注) 当社は平成28年6月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年6月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年6月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	8,200	—	200	—	200	—	80	39.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年6月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期2Q	2,070,900 株	27年6月期	2,070,900 株
② 期末自己株式数	28年6月期2Q	30,300 株	27年6月期	30,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期2Q	2,040,600 株	27年6月期2Q	2,040,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この第2四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策を背景として、外国人観光客のインバウンド需要の拡大、企業収益や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調となった一方で、中国経済をはじめとした海外景気の減速や原油価格の下落などが見られ、先行き不透明な状況となっております。

このような経営環境のもと、当社グループは「顧客満足の追及と基本の徹底」を念頭に店舗環境の改善に注力し、新規業態店舗や新規取引の開拓に取組み、新たな収益創出に向けた組織力の向上に努めて参りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,107百万円、営業利益107百万円、経常利益109百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益26百万円となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

<店舗運営事業>

当事業につきましては、複合カフェ「スペースクリエイティブ自遊空間」チェーンにおいて設備やサービスの拡充、イベントの企画運営を図り、集客力の高い店舗開発と、より快適な空間を提供できるよう一層のサービス向上に努めております。店内設備においては、日々のお客様のニーズに合った環境を整えるため店内の改装を実施し、デラックスブース等の稼働率の高いブースに入れ替えを行っております。また、人気コンテンツである最新オンラインゲームやカラオケ、ダーツの最新機種を導入によって常に新鮮な店内環境を構築しております。ダーツやビリヤードのイベント・大会を定期的に開催し、コミュニティの活性化を目指して近隣店舗との合同開催による企画も実施しております。加えて、スマートフォン向け会員証アプリとスマートフォン向けゲームアプリ「どうぶつのオーケストラ SMASH×SMASH II」、「がんばれ！ルルロロ レスキュー大作戦！」の連携によって、ゲームを遊ぶと自遊空間店舗がお得に利用できるクーポンがもらえるキャンペーン等を継続的に展開しております。

サービスの質的向上を図るために「基本の徹底」を念頭におき、店舗スタッフのサービスレベル、ホスピタリティレベル向上のための教育と研修を実施し、店舗でのOJTや講義を通じて従業員の接客力底上げに注力しております。

平成27年7月に新宿にオープンした「アミューズメントカジノ ジクー」は「for the good smile」を基本コンセプトとした店舗で、ポーカーやブラックジャック等のカジノゲームを通して、コミュニケーションを創出する新たなアミューズメントスポットとして運営しております。ポーカー大会の予選会場や貸切パーティー会場としての利用も促進し、カジノゲームが初めての方も本格的にプレイする方も幅広く楽しんで頂ける店舗です。

平成27年9月に自遊空間アーバン札幌店の一部をリニューアルし、アニメ「エヴァンゲリオン」の世界観をイメージしたコンセプトカフェ「自遊空間アーバン札幌feat. EVANGELION」をオープンいたしました。店内では、オリジナルメニューを提供する飲食スペースを中心にエヴァンゲリオングッズの販売も行っております。国内外の作品ファンにアピールする企画を随時展開しております。

今後も当社は新規事業の開発・出店に注力し、自遊空間事業に続く主力事業の構築を目指して参ります。

当第2四半期連結会計期間末時点では180店舗（直営店舗69、FC加盟店舗111）となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は3,657百万円、セグメント利益は234百万円となりました。

<不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は189百万円、セグメント利益は45百万円となりました。

上記事業の他に、システム等の外販事業及びメディア広告事業、子会社である株式会社ランウェルネスにおいて児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を運営しております。システム等の外販事業では、入会システム、会員管理システム等を販売しております。メディア広告事業では、主に自遊空間店内外における広告営業やスマートフォン向けアプリの開発及びアプリを活用したサービスを実施しております。児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業では、放課後等デイサービス施設「ハッピーキッズスペースみんな」を設立し、児童・生徒の発達支援に関するサービスを行っております。

(注) 当社は、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,387百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が665百万円、売掛金が236百万円、商品及び製品が192百万円であります。

固定資産は3,402百万円となりました。主な内訳は、建物及び構築物（純額）が1,018百万円、土地が769百万円、敷金が866百万円であります。

この結果、総資産は4,790百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,246百万円となりました。主な内訳は、買掛金が259百万円、短期借入金が150百万円、1年内返済予定の長期借入金が442百万円であります。

固定負債は1,531百万円となりました。主な内訳は、長期借入金が1,080百万円、資産除去債務が199百万円あります。

この結果、負債合計は、2,777百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,012百万円となりました。主な内訳は、資本金が803百万円、資本剰余金が841百万円、利益剰余金が393百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は、42.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、今後の出店計画や店舗売上高に与える影響や開発中の新製品及びサービスの運用時期の変動などの不確定要因があるため、現時点においては前回予想通りとし、修正は行っておりません。なお、数値が確定した結果、適時開示基準に該当し、開示の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますが、通期の連結業績予想につきましては、平成28年1月29日に公表しております「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ランウェルネスを新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	665,704
売掛金	236,956
商品及び製品	192,317
原材料及び貯蔵品	47,896
その他	247,198
貸倒引当金	△2,490
流動資産合計	1,387,582
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,018,108
工具、器具及び備品(純額)	318,702
土地	769,143
その他	8,067
有形固定資産合計	2,114,022
無形固定資産	203,218
投資その他の資産	
敷金	866,287
その他	270,249
貸倒引当金	△50,790
投資その他の資産合計	1,085,745
固定資産合計	3,402,987
資産合計	4,790,569
負債の部	
流動負債	
買掛金	259,330
短期借入金	150,000
1年内返済予定の長期借入金	442,736
未払法人税等	59,996
その他	334,344
流動負債合計	1,246,407
固定負債	
長期借入金	1,080,629
資産除去債務	199,318
その他	251,362
固定負債合計	1,531,310
負債合計	2,777,718
純資産の部	
株主資本	
資本金	803,314
資本剰余金	841,559
利益剰余金	393,897
自己株式	△23,969
株主資本合計	2,014,802
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△1,951
その他の包括利益累計額合計	△1,951
純資産合計	2,012,851
負債純資産合計	4,790,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,107,166
売上原価	3,450,196
売上総利益	656,969
販売費及び一般管理費	549,586
営業利益	107,383
営業外収益	
受取利息	1,009
販売手数料収入	8,809
その他	695
営業外収益合計	10,514
営業外費用	
支払利息	7,884
その他	927
営業外費用合計	8,812
経常利益	109,086
特別利益	
固定資産売却益	651
特別利益合計	651
特別損失	
固定資産売却損	913
固定資産除却損	1,757
減損損失	35,697
特別損失合計	38,368
税金等調整前四半期純利益	71,368
法人税等	45,193
四半期純利益	26,175
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,175

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	26,175
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,479
その他の包括利益合計	△1,479
四半期包括利益	24,695
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	24,695
非支配株主に係る四半期包括利益	-

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。